授業科目名：	単位数：	担当教員名：
ワーク・ライフ・バランス論	2単位	斎藤やす子
		担当形態：　単独

実務内容 （実務家教員の場合）	

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

1. キャリア教育とワーク・ライフ・バランス
2. ワーク・ライフ・バランスと子供の成長・発達
3. 教師の労働状況と精神的健康

授業の概要

私たちの生活の周りには多種多様な職業が存在し、医療・福祉・教育関連などはそれぞれにおいて専門性を要求され社会に大きな貢献をもたらしているといえる。教師においては一般労働者に比べて職場内でのストレッサーの割合は大きく、日本の教師の仕事量は世界平均より多く労働時間の増加は肉体的精神的負担を増しストレスとして健康上の問題を引き起こす。ワーク・ライフ・バランスを重視した教育現場の重要性について考えていく。

授業計画

第1回　日本の教員の労働状況を知る
第2回　日本の教員の精神的健康の現状
第3回　日本の教員のワーク・ライフ・バランスの現状と問題（1）
第4回　日本の教員のワーク・ライフ・バランスの現状と問題（2）
第5回　ライフステージとワーク・ライフ・バランス（1）
第6回　ライフステージとワーク・ライフ・バランス（2）
第7回　学校における働き方の見直しについて
第8回　ワーク・ライフ・バランスと教育の質の向上について
第9回　学校におけるワーク・ライフ・バランスの実現に向けて地域・保護者との協同
第10回　学校におけるワーク・ライフ・バランスの実現に向けて行政との協同
第11回　これからのワーク・ライフ・バランスに向けて時代の変化に応じた対応
第12回　これからのワーク・ライフ・バランスに向けて自己成長の考え方
第13回　これからのワーク・ライフ・バランスに向けて家庭での過ごし方や夫婦関係等、家族機能の形成
第14回　キャリア教育とワーク・ライフ・バランス
第15回　まとめ
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト

尾形和男(2018)『家庭と仕事の心理学ー子供の育ちとワーク・ライフ・バランスー』風間書房　978-4-7599-2222-6

参考書・参考資料等

樋口修資・青木純一・内田良・工藤祥子（2018）『学校をブラックから解放する-教員の長時間労働の解消とワーク・ライフ・バランスの実現』学事出版　978-4761925086
妹尾昌俊(2015)『変わる学校、変わらない学校』学事出版　978-4-7619-2163-7

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）